

2021年7月実施
第15回
農業簿記検定[®]
③級 問題

注意事項

トイレなど途中退出後の再入室は認めません。試験開始の合図の前までに済ませてください

- 1 試験監督員の指示があるまで、この問題冊子は開かないようにしてください。
- 2 試験中、下記の使用が認められたもの以外は、すべてカバン等にしまい、机の中又は、足元等指定された場所に置いてください。試験中、使用が認められるものは、次のとおりです。
 - ・筆記具（BまたはHBの黒鉛筆/シャープペンシル）・消しゴム・定規・ラインマーカー
 - ・電卓（基準に適合したものに限る。又は算盤）・時計（通信機能を有するものを除く）
- 3 スマートフォン等通信機器を使用することは認めません（時計の代わり又は電卓として使用も不可）。電源を切り、カバン等にしまってください。
- 4 試験監督員の指示に従わない場合、また、周囲に迷惑をかける等、適切な試験の実施に支障を来たす行為を行った場合には、不正受験とみなすことがあります。
- 5 上掲4の場合を含み、不正受験と認められた場合には、直ちに退室を命ずることがあります。
- 6 試験時間は、**1時間30分（90分）**です。試験開始の合図により、試験を始めてください。
- 7 この問題冊子には、**問題25問まで掲載**しており、**1頁から14頁まで印刷**しています。
試験監督員の指示に従い、頁を調べ、印刷不鮮明や落丁等があれば、挙手をして申し出てください。
- 8 解答は、別途配布した解答用紙（マークシート）に記入（該当番号の塗りつぶし）してください。
- 9 問題の内容に関する質問には、一切応じません。
- 10 退室可能時間は、試験開始後30分後から試験終了10分前です。
※退出を希望する場合は、必ず挙手をして、試験監督員が解答用紙を確認し回収するまでは、席を立たないでください。一旦退出後の再入室は、認めません。
- 11 試験終了の合図とともに、直ちに、筆記具を置き、解答用紙を裏返してください。
- 12 試験監督員が解答用紙を回収し、受験番号や氏名等の記載内容を確認した後、退室可能を指示するまでは、席を立たないでください。
- 13 この問題冊子及び計算用紙は、持ち帰ることができます。解答用紙は、持ち帰れません。

主催 一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会

監修 一般社団法人 全国農業経営コンサルタント協会

※“農業簿記検定[®]”は、一般社団法人 全国農業経営コンサルタント協会の登録商標です

問題 1 次の文章の（ア）～（エ）にあてはまる語句の組み合わせのうち、正しい組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。

農業簿記の目的は、（ア）が生物（植物、動物）を生産して販売する場合に、正しい記帳を行うことにより、正しい（イ）を作成して、（ウ）の経営成績を明らかにすること、（エ）の財政状態を明らかにすることです。

【選択肢】

- | | | | |
|------------|----------------|---------|---------|
| 1. ア. 農業者 | イ. 損益計算書と貸借対照表 | ウ. 一定期間 | エ. 一定時点 |
| 2. ア. 農業者 | イ. 合計残高試算表 | ウ. 一定期間 | エ. 一定時点 |
| 3. ア. 食品業者 | イ. 合計残高試算表 | ウ. 一定時点 | エ. 一定期間 |
| 4. ア. 農業者 | イ. 損益計算書と貸借対照表 | ウ. 一定時点 | エ. 一定期間 |
| 5. ア. 販売業者 | イ. 現金出納帳 | ウ. 一定時点 | エ. 一定期間 |

問題 2 次の記述のうち、誤っている番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 複式簿記における取引は必ず「取引の二重性」を充足する。
2. どのような取引であっても、借方の金額合計と貸方の金額合計は必ず一致する。これを貸借平均の原理という。
3. 損益計算書等式とは「費用＋当期純利益＝収益」である。
4. 主要簿とはすべての取引をその発生した順に記録した帳簿であり、仕訳帳と総勘定元帳のことである。
5. 貸借対照表等式とは「資産－純資産＝負債」である。

問題 3

X農場の取引は以下のとおりである。現金勘定の貸方合計の金額と普通預金勘定の借方合計の金額として正しい番号を一つ選びなさい。

4月1日	現金2,000,000円と土地1,000,000円を元入れして経営を開始した。
4月2日	現金1,600,000円をJAの普通預金口座に入金した。
4月3日	土壌改良の肥料130,000円を掛けで購入した。
4月5日	トマトとナスの苗を100,000円で購入し、現金で支払った。
5月7日	JAから設備資金として1,000,000円借り入れし、普通預金に入金された。
5月15日	中古の軽トラックを800,000円で取得し、普通預金から振り込んだ。
5月16日	農薬80,000円を現金で購入した。
7月15日	収穫した野菜を380,000円で販売し、130,000円を現金で受け取り、残額を掛けとした。
8月8日	掛代金250,000円が販売手数料20,000円を控除されて普通預金に入金された。
8月31日	パート事務員に給与60,000円を現金で支払った。

【選択肢】

- | | | | | | | |
|----|----|--------|------------|------|--------|------------|
| 1. | 現金 | (貸方合計) | 240,000円 | 普通預金 | (借方合計) | 1,230,000円 |
| 2. | 現金 | (貸方合計) | 1,840,000円 | 普通預金 | (借方合計) | 2,830,000円 |
| 3. | 現金 | (貸方合計) | 1,860,000円 | 普通預金 | (借方合計) | 2,830,000円 |
| 4. | 現金 | (貸方合計) | 1,970,000円 | 普通預金 | (借方合計) | 2,850,000円 |
| 5. | 現金 | (貸方合計) | 2,130,000円 | 普通預金 | (借方合計) | 2,850,000円 |

問題 4 次の【資料】に基づいて期末の負債総額がいくらになるか、正しい番号を一つ選びなさい。

【資料】

当期の収益総額	9,000,000 円
当期の費用総額	6,000,000 円
期首の純資産額	7,000,000 円
期末の資産総額	15,000,000 円

【選択肢】

1. 5,000,000 円
2. 6,000,000 円
3. 7,000,000 円
4. 8,000,000 円
5. 9,000,000 円

問題 5 次の文章の（ア）～（オ）にあてはまる語句の組み合わせのうち、正しい組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。

年度末において販売目的のために肥育中の販売用動物は、次年度以降に販売されます。

肥育にかかる費用は、素畜費、飼料費、農薬費などに計上されていますが、これらは（ア）の費用とするルールになっています。そこで、決算において肥育中の販売用動物の生育にかかった費用を把握し、当年度の費用（イ）するとともに、（ウ）勘定を通して次年度に繰り越します。この場合、費用（イ）する勘定科目は（エ）を使用します。

（ウ）勘定を通して次年度に繰り越された金額は、次年度において費用（オ）します。

- | | | | | |
|-----------|---------|----------|-------------|---------|
| 1. ア. 販売時 | イ. から減算 | ウ. 仕掛品 | エ. 期末仕掛品棚卸高 | オ. に加算 |
| 2. ア. 販売時 | イ. に加算 | ウ. 原材料 | エ. 期末材料棚卸高 | オ. から減算 |
| 3. ア. 販売時 | イ. から減算 | ウ. 育成仮勘定 | エ. 育成費振替高 | オ. に加算 |
| 4. ア. 発生時 | イ. に加算 | ウ. 仕掛品 | エ. 期末仕掛品棚卸高 | オ. から減算 |
| 5. ア. 発生時 | イ. から減算 | ウ. 育成仮勘定 | エ. 育成費振替高 | オ. に加算 |

問題 6 次のア～エの記述のうち、誤っているものが二つある。その記号の組み合わせの番号を一つ選びなさい。

ア. 当期において育成中の繁殖牛に使用した費用は飼料代が 430,000 円、家畜薬代が 260,000 円であったため、決算において下記の仕訳を行った。

(借) 育成仮勘定 690,000 (貸) 育成費振替高 690,000

イ. 育成中の搾乳牛が成熟期に達したため、下記の仕訳を行った。この牛にかかる育成仮勘定残高は 550,000 円である。

(借) 仕掛品 550,000 (貸) 育成仮勘定 550,000

ウ. 決算において生物の減価償却費を 350,000 円計上し、下記の仕訳を行った。

(借) 減価償却費 350,000 (貸) 生物 350,000

エ. 畑の造成を行い、代金 940,000 円を現金で支払った。

(借) 修繕費 940,000 (貸) 現金 940,000

【選択肢】

1. アイ 2. アウ 3. アエ 4. イエ 5. ウエ

問題 7 下記に収益にかかる取引の代表的な仕訳例を列挙した。(ア)～(オ)にあてはまる勘定科目の組み合わせのうち、正しい組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。

(1) J Aへの委託販売

① J Aに対し米 200 俵の出荷を契約し、契約金として 500,000 円が普通預金に入金された。

(借) 普通預金 500,000 (貸) (ア) 500,000

② 契約に基づき米 200 俵を出荷し、売上代金 3,000,000 円のうち契約金として入金されていた 500,000 円を控除した残額の 2,500,000 円が普通預金に入金された。

(借) 普通預金 2,500,000 (貸) (イ) 3,000,000

(借) (ア) 500,000

(2) 売上値引

先に野菜を販売した Y 商店から、傷みの激しい部分があったことから 4,000 円の値引きを要求された。その金額 4,000 円について、売掛金から差し引くよう求められた。

(借) (ウ) 4,000 (貸) 売掛金 4,000

(3) 補助金収入

水田転作を支援するための交付金 680,000 円が普通預金に入金された。

(借) 普通預金 680,000 (貸) (エ) 680,000

(4) 家事消費取引

収穫した桃を、友人に贈答用として送った。この時の見積価格は 8,000 円だった。

(借) 資本金 8,000 (貸) (オ) 8,000

【選択肢】

- | | | | | |
|--------------|----------|----------|-----------|----------|
| 1. ア. 作付助成収入 | イ. 売掛金 | ウ. 現金 | エ. 前受金 | オ. 農産物 |
| 2. ア. 作付助成収入 | イ. 売掛金 | ウ. 現金 | エ. 作業受託収入 | オ. 果実売上高 |
| 3. ア. 前受金 | イ. 水稲売上高 | ウ. 野菜売上高 | エ. 作付助成収入 | オ. 果実売上高 |
| 4. ア. 前受金 | イ. 水稲売上高 | ウ. 野菜売上高 | エ. 作業受託収入 | オ. 果実売上高 |
| 5. ア. 水稲売上高 | イ. 売掛金 | ウ. 野菜売上高 | エ. 作付助成収入 | オ. 農産物 |

問題 8 次の仕訳の（ア）～（エ）にあてはまる勘定科目ないし金額の組み合わせのうち、正しい組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。

帳簿価額 250,000 円の搾乳牛を 200,000 円で売却し、販売手数料 15,000 円を差し引いた 185,000 円が普通預金に入金された。

（借） 普通預金 185,000 （貸）（ア） 200,000
 販売手数料 15,000

（借） （イ） （ウ） （貸）（エ） （ウ）

【選択肢】

- | | | | |
|--------------|-----------|------------|----------|
| 1. ア. 生物売却収入 | イ. 生物 | ウ. 50,000 | エ. 生物売却損 |
| 2. ア. 生物売却収入 | イ. 生物売却原価 | ウ. 250,000 | エ. 生物 |
| 3. ア. 生物 | イ. 生物売却原価 | ウ. 50,000 | エ. 生物 |
| 4. ア. 生物売却収入 | イ. 生物 | ウ. 200,000 | エ. 生物売却益 |
| 5. ア. 生物 | イ. 生物 | ウ. 50,000 | エ. 生物売却益 |

問題 9 次の【資料】に基づいて固定資産売却損益がいくらになるか、正しい番号を一つ選びなさい。

【資料】

昨年1月1日に貨物自動車を950,000円で取得したが、本年12月31日に650,000円で売却した。減価償却は税法の定めに従い定額法（耐用年数4年、償却率0.250）にて実施している。

【選択肢】

1. 固定資産売却損が300,000円生じる。
2. 固定資産売却損が62,500円生じる。
3. 固定資産売却益が115,625円生じる。
4. 固定資産売却益が175,000円生じる。
5. 固定資産売却益が325,000円生じる。

問題 10~17

次の〔資料1〕および〔資料2〕に基づき××年12月31日現在の残高試算表を作成した場合について、以下の設問（問題10~17）に答えなさい。（決算は年1回、12月31日）

〔資料1〕××年1月1日現在の残高試算表

借方科目	金 額	貸方科目	金 額
現 金	98,000	買 掛 金	840,000
普 通 預 金	8,682,000	借 入 金	6,500,000
売 掛 金	550,000	預 り 金	23,000
農 産 物	630,000	前 受 金	100,000
原 材 料	432,000	預 り 保 証 金	240,000
構 築 物	5,320,000	資 本 金	16,724,000
機 械 装 置	3,265,000		
土 地	5,200,000		
出 資 金	250,000		
	24,427,000		24,427,000

〔資料2〕××年1月1日から12月31日までに行った取引

- 1月14日 給料日に預かった源泉所得税23,000円（年末調整後の金額）を、現金で支払った。
- 1月20日 JA産直ひまわりより、12月下半期の売掛金550,000円が、普通預金に振り込まれた。
- 2月5日 バレンタイン用の注文を受けた花卉（バラ）330,000円を出荷し、前受金100,000円を差し引いて残金は掛けとした。
- 2月8日 前年末のJA購買の買掛代金840,000円を、普通預金より支払った。
- 3月10日 花卉（バラ）の苗木を1,000本、1本あたり550円で購入し、普通預金で支払った。
- 4月5日 JA購買部より肥料935,000円を購入し、代金は掛けとした。
- 5月10日 母の日ギフト用の花卉（バラ）5,500,000円を出荷し、代金は掛けとした。
- 5月25日 当年分の農地及びハウスの固定資産税220,000円を普通預金で支払った。
- 5月31日 4月のJA購買の買掛代金のうち、800,000円を、普通預金より支払った。
- 6月30日 元利均等払いの借入金の返済として500,000円（うち利息部分4,800円）を普通預金より支払った。
- 7月18日 売掛金5,500,000円を回収し、販売手数料440,000円が差し引かれ、普通預金へ入金した。なお、販売手数料は「販売手数料勘定」を使用すること。
- 7月31日 近隣農家へ貸し付けている、ビニールハウスの家賃132,000円を現金で受け取った。
- 9月26日 台風の直撃によりハウス（構築物）が損傷をしたため、修理代金165,000円と、より強固なものにするための改造代金（資本的支出）1,650,000円を普通預金より支払った。
- 10月4日 園芸共済掛金96,000円を現金で支払った。

- 10月20日 ハウス用のボイラー設備（機械装置）2,970,000円を購入し、代金のうち200,000円は普通預金より支払い、残額は翌年支払うこととした。
- 11月18日 9月の台風による被害による補償を受け、園芸施設共済金1,500,000円が普通預金へ入金された。
- 12月23日 クリスマスプレゼント用の花卉（バラ）を、JA産直ひまわりにて275,000円掛販売した。
- 12月28日 賃金手当800,000円の支払において、源泉所得税28,000円を差し引いて普通預金で支払った。

残高試算表

××年12月31日

（単位：円）

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金		買掛金	
普通預金	(ア)	未払金	(オ)
売掛金	(イ)	借入金	(カ)
農産物		預り金	
原材料		預り保証金	
構築物		資本金	
機械装置		花卉売上高	(キ)
土地		受取家賃	
出資金		受取共済金	
租税公課			
種苗費	(ウ)		
肥料費			
販売手数料			
賃金手当			
修繕費	(エ)		
共済掛金			
支払利息			
	(ク)		(ク)

問題 10 (ア) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 1,633,000 2. 10,095,000 3. 10,315,000 4. 10,755,000 5. 15,792,000

問題 11 (イ) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 275,000 2. 505,000 3. 605,000 4. 945,000 5. 6,555,000

問題 12 (ウ) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 540 2. 1,000 3. 550,000 4. 982,000 5. 1,485,000

問題 13 (エ) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 165,000 2. 1,650,000 3. 1,815,000 4. 5,485,000 5. 6,970,000

問題 14 (オ) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 200,000 2. 220,000 3. 2,770,000 4. 2,970,000 5. 3,170,000

問題 15 (カ) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 504,800 2. 5,995,200 3. 6,000,000 4. 6,004,800 5. 6,500,000

問題 16 (キ) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 5,060,000 2. 5,500,000 3. 6,005,000 4. 6,105,000 5. 6,655,000

問題 17 (ク) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 23,336,000 2. 33,638,800 3. 33,863,600 4. 33,958,800 5. 47,763,000

問題 18～25

次の〔期末修正事項〕に基づき精算表を作成した場合について、以下の設問（問題 18～25）に答えなさい。（決算は年 1 回、12 月 31 日）

〔期末修正事項〕

- 1) 米や野菜などの農産物の期末における実地棚卸高は、260,000 円であった。
- 2) 肥料や農薬などの材料の期末における実地棚卸高は、290,000 円であった。
- 3) 売掛金の期末残高に対し、5.5%の貸倒れを見積もる。なお、洗替法により処理する。
- 4) 減価償却を税法の定めに従い次のとおり行う。

種 類	取得価額	耐用年数	償却方法	償却率	期首の減価 償却累計額
建 物	810,000 円	15 年	定額法	0.067	217,080 円
機 械 装 置	3,100,000 円	7 年	定額法	0.143	1,329,900 円
車 両 運 搬 具	1,250,000 円	4 年	定額法	0.250	937,500 円

- 5) 修繕費のうち、28,000 円は来期にかかる機械保守点検料として支払ったものである。
- 6) 賃貸料収入のうち、トラクターの貸付料に対する前受分が 54,000 円ある。
- 7) 当期決算の後に支払った支払利息 18,000 円のうち、当期にかかる分が 12,000 円あった。
- 8) 雑収入の未収分が 80,000 円ある。

精 算 表

××年12月31日

(単位：円)

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	125,000							
普通預金	1,600,000							
売掛金	480,000							
農産物	220,000						(ア)	
原材料	250,000							
建物	810,000							
機械装置	3,100,000							
車両運搬具	1,250,000							
土地	2,300,000							
買掛金		320,000						
借入金		3,100,000						
貸倒引当金		28,000						
減価償却累計額		2,484,480						
資本金		3,000,000						
売上高		5,601,880						
受取利息		600						
賃貸料収入		275,000					(イ)	
雑収入		530,000						
種苗費	620,000							
肥料費	1,720,000							
農薬費	787,360							
賃金手当	1,684,000							
修繕費	120,000							
支払地代	240,000							
支払利息	33,600					(ウ)		
	15,339,960	15,339,960						
期首農産物棚卸高								
期末農産物棚卸高								
期首材料棚卸高								
期末材料棚卸高							(エ)	
貸倒引当金戻入						(オ)		
貸倒引当金繰入						(カ)		
減価償却費								
前払費用							(キ)	
前受収益								
未払費用								
未収収益								
当期純()						(ク)		

問題 18 (ア) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 220,000 2. 250,000 3. 260,000 4. 280,000 5. 290,000

問題 19 (イ) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 198,000 2. 221,000 3. 275,000 4. 329,000 5. 610,000

問題 20 (ウ) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 12,000 2. 33,600 3. 39,600 4. 45,600 5. 51,600

問題 21 (エ) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 220,000 2. 240,000 3. 250,000 4. 260,000 5. 290,000

問題 22 (オ) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 17,600 2. 25,850 3. 26,400 4. 28,000 5. 29,600

問題 23 (カ) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 755,800 2. 809,357 3. 810,070 4. 850,070 5. 2,484,480

問題 24 (キ) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 12,000 2. 28,000 3. 32,000 4. 54,000 5. 92,000

問題 25 (ク) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 356,050 2. 460,050 3. 512,850 4. 516,050 5. 624,050